

平成30年度事業報告書

一般社団法人地域医療機能推進学会

平成30年度事業報告

平成30年度において、一般社団法人地域医療機能推進学会（以下、学会という。）は、設立の目的である独立行政法人地域医療機能推進機構等（以下、JCHOという。）に勤務する学会会員の資質の向上、地域医療に関する調査研究及び教育の促進を図り、もって地域医療の向上及び医学・医療の発展に寄与するための各種事業を実施した。

また、学会会員の特典として行っている福利厚生制度の充実を図るため、学会会員への利用促進を図るとともに、新たな福利厚生制度の導入を検討し実施した。

なお、平成31年3月31日時点の会員数は18,111人であった。

平成30年度に学会が実施した各種事業は、以下のとおりである。

1. 第4回JCHO地域医療総合医学会の開催

学会では、平成30年11月16日（金）、17日（土）の両日、「今、JCHOに求められるもの～絆の継承とリノベーションへの挑戦～」をメインテーマに『第4回JCHO地域医療総合医学会』（会長：山崎芳郎 JCHO大阪病院 院長）を開催した。

会場は東京都港区のTKPガーデンシティ品川及びJCHO本部研修棟会議室を使用し、JCHO病院等から2,072人が参加した。

プログラムは山崎会長による会長講演に始まり、第1回医学会からの継続テーマ4演題とともに、「JCHOにおける健康管理センターの役割」、「地域包括ケアにおける認知症への取り組み、これまでとこれから」、「JCHO病院間の医師派遣への対応」、「病院の規模と機能に応じた経営改善のノウハウ」の計8題のシンポジウム、JCHO職員からの応募による一般演題414題、また、会長企画講演では大阪大学の井上善文教授が「チーム医療としてのNSTの温故知新」、特別講演では女優の檀ふみさんが「仕事が教えてくれたこと」をテーマに講演を行った。上記の構成により総演題数は459題であった。

2. 地域医療機能推進学会セミナーの開催

学会では、平成30年度に各職種を対象として、下記の『地域医療機能推進学会セミナー』を開催した。開催にあたっては学会ホームページに開催案内を掲示し、JCHO職員のみならず広く一般の方々にも参加を募った。会場はJCHO本部研修棟会議室を使用した。

・第2回看護セミナー（第11回地域医療機能推進学会セミナー）：平成30年

5月18日(木)、看護部長等を対象に「看護職の働き方改革について」をテーマに開催した。参加者は73人であった。

3. 看護師特定行為研修テキストの作成

JCHOが厚生労働省より看護師の特定行為研修を行う研修機関として指定されたことを受け、JCHO病院において実施する特定行為区分(10区分)の特定行為研修に使用するテキストを学会において制作し、JCHO病院等に必要部数を提供(販売)した。

テキストの名称は『看護師特定行為区分別科目研修テキスト』シリーズとし、「呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連」、「ろう孔管理関連」、「創傷管理関連」、「創部ドレーン管理関連」、「透析管理関連」、「栄養および水分管理に係る薬剤投与関連」、「感染に係る薬剤投与関連」、「栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連」、「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」、「皮膚損傷に係る薬剤投与関連」の10冊である。

4. 福利厚生制度の実施

学会では会員特典としての各種福利厚生事業を実施しているが、今年度においても新たな制度を追加し、一層の充実を図ってきた。

また、JCHOの新規採用職員全員に入会案内とともに、各種福利厚生制度の紹介パンフレットを配布し、学会への加入促進を図るとともに各種学会事業の情報提供を行った。

5. 一般社団法人地域医療機能推進学会理事会規則第9条に定める部会の運営

JCHO地域医療総合医学会事業、研修事業及びその他の事業の企画立案・実施等の各種事業が円滑に行われることを目的として設置した、院長部会、事務部会、看護部会、薬剤部会、放射線部会、臨床検査部会、リハビリ部会、栄養部会、臨床工学部会の運営支援等を行った。

また、部会活動がより積極的に実施されるよう、部会ごとに部会会則を制定し、資質及び技術等の向上が図れるよう体制整備を行った。さらに、第5回JCHO地域医療総合医学会の開催準備委員会に部会代表を招集し、各部会の意見や提案が企画構成に反映できる体制を構築した。

各部会は、第4回JCHO地域医療総合医学会の会期前日である平成30年11月15日(木)に部会総会を開催するとともに、各部会が独自に企画したテーマによる講演会や意見交換会等を実施した。